

長野県宿泊税を活用した定期周遊バス「飯田☆中津川線」の新設について【報告2】

飯田市産業経済部ツーリズム振興室

1. 目的

- JR中央本線によるアクセスが良好で観光資源が豊富な木曽路は近年多くのインバウンド客が訪れているが、同エリアから飯田市・南信州地域の観光地・宿泊施設に直接アクセスできる公共交通はなく、マイカーやレンタカーの利用に限られている。
- こうした課題の解決に向けて、令和8年6月から導入された長野県宿泊税を活用し、主要な交通結節点（中津川駅、伊賀良、飯田駅）と多くのインバウンド客が訪れる馬籠宿、豊富な宿泊施設を有する昼神温泉、リバーアクティビティや豊富な食文化を体験できる天龍峡を結ぶ定期周遊バスを整備し、観光誘客のための二次交通の充実を図るとともに、併せて伊那路、木曽路の連携による広域的な観光コンテンツ開発と情報発信を強化する。
- 長野県宿泊税は導入から3年で制度見直しを検討とされていることを踏まえ、見直しまでの間を定期周遊バスの実証運行期間と位置付け、期間中の乗車率や収益性、路線単独での運行継続の可能性、広域観光への波及効果等を分析し、その後の実装可否を判断する。

2. 定期周遊バスの概要

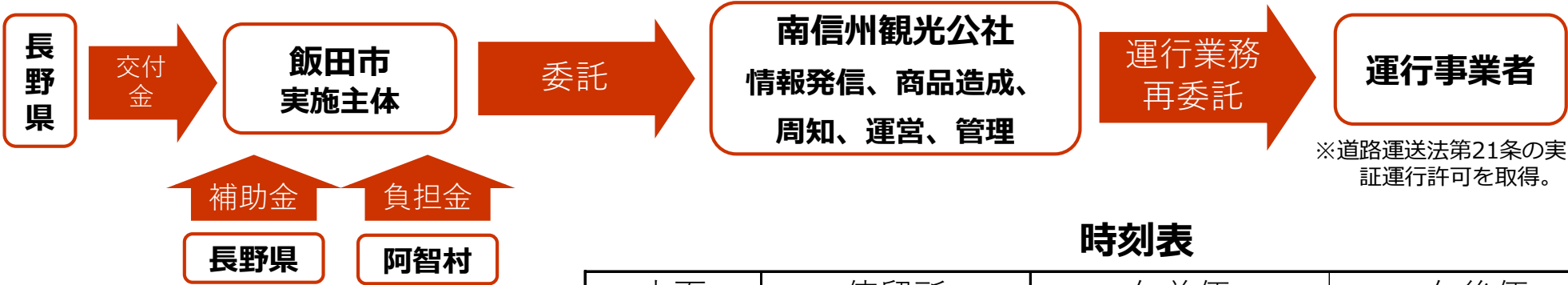
経路	中津川駅前==馬籠宿==昼神温泉==天龍峡駅前 ==伊賀良バス停==飯田駅前 ※上記行程を午前・午後の1日2往復運行（天龍峡駅は中津川駅⇒飯田駅方面のみ停車） ※事前予約に加え、当日空席があれば乗車可能とする ※馬籠⇄中津川駅前からのみの利用は不可
運行期間	R8. 9.1～R11.3.31（実証運行期間：3年間） ※各年ともに、12/1～3/19（閑散期）は運休
料金	片道1,500円（どこで乗降りしても同一料金）



長野県宿泊税を活用した定期周遊バス「飯田☆中津川線」の新設について

飯田市産業経済部ツーリズム振興室

3. 事業実施スキーム



二次交通はあくまでも移動手段であり、当該手段を利用して実際に観光客が周遊する目的を作ることが重要。

このため、定期周遊バスを生かした旅行商品の造成や周知広報等、バスの利用促進の取組と併せて、宿泊、飲食、各種体験・アクティビティなどを提供する事業者等と連携し、既存のコンテンツを面的に繋ぐことで、観光の目的地化を図る。

※馬籠線と競合しないよう「馬籠屋⇄中津川駅」のみの利用は不可とし、バス停看板やwebサイトにて案内する。

時刻表

方面	停留所	午前便	午後便
飯田駅 ↓ 中津川駅	飯田駅前	9:00	14:15
	伊賀良バス停	9:13	14:28
	昼神温泉	9:37	14:52
	馬籠	降車のみ・乗車不可 10:05	降車のみ・乗車不可 15:20
	中津川駅前	10:22	15:37
中津川駅 ↓ 飯田駅	中津川駅前	10:25	15:40
	馬籠	降車不可・乗車のみ 10:45	降車不可・乗車のみ 16:00
	昼神温泉	11:13	16:28
	天竜峡駅前	11:32	16:47
	伊賀良バス停	11:51	17:06
	飯田駅前	12:00	17:15

※ 馬籠⇄中津川駅のみのご利用はできません